

# 議会 施政の報告

五條市長 吉野 晴夫

平成19年第4回定例会が12月3日に開会され、吉野市長が市政の報告を行いました。



9月から今日までの市政の概要についてご報告申し上げます。

## 行財政改革

はじめに、最重要課題であります「行財政改革」につきましては、今年度から行政経営を行う上で、最小単位となる事務事業の実施結果とその成果について、達成度や実施度などの観点から評価を行い、次年度における予算や人員などの経営資源の投入量を導き出し、事務事業の方向性や目標を決定することを目的とする、事務事業評価システムの導入に取り組んでおります。今年度は、全725の事務事業のうち167の事務事業について、職員の意識改革を導きながら試行評価を実施しているところであります。

## 新五條市総合計画

次に、「新五條市総合計画」につきましては、去る10月10日、第2回総合計画策定審議会において、今後どのような課題の解決に取り組み、それを実現するための基本的な考え方を示す基本構想について審議をいただきました。現在、策定部会等において、主要施策を達成するためのより具体的な施策や事業を示す基本計画の素案について作成中であります。

## 公共交通対策

次に、「公共交通対策」につきましては、去る11月15日、住民代表、旅客運送事業者、道路管理者、警察および市等により構成する五條市地域公共交通会議を立ち上げ、地域住民のニーズに即した乗合運送サービスの運行形態、運賃等について審議をいただき、来年4月以降の再編計画について承認をいただいたところであります。

## ケーブルテレビ整備事業

次に、西吉野・大塔地域を対象

とした「ケーブルテレビ整備事業」につきましては、去る10月初旬、各地域の住民代表の方々に対しまして、事業概要の説明会を開催し、ご理解を求めたところであります。

今後は、説明会で寄せられた意見や要望等、また、現在取りまとめを行っております、住民アンケートの結果も照らし合わせながら、地域住民のニーズをよりの確にとらえ、事業を進めてまいりますと考えております。

## 市制施行50周年

次に、「市制施行50周年」の取り組みにつきましては、今年度当初から、市民団体や市のイベント等に「市制50周年」の冠を付けて、PRをしてまいりました。そして、去る10月14日、市民会館で記念式典を開催し、荒井県知事や国会議員など350人のご臨席のもと、五條市の半世紀を振り返ると共に、未来に希望の持てるまちづくりを目指し、新たな歴史創造への一歩を踏み出したところでございます。また、同日に平成16年度から整備を進めてまいりました、「5万人の森公園」の完成を祝い、オープンングセレモニーを開催いたしました。公園内の会場には、多数のフリーマーケット・模擬店に出店いただいたほか、様々なアトラクションで華を添えていたたくと共、五條文化博物館では「写真でたどる市制50年のあゆみ」写真展・ミュージアムコンサートを行い、多くの人々にぎわいました。

更に、11月9日には市民会館でNHK奈良放送局との共催により、市制50周年記念NHKラジオ「上方演芸会」公開録音を開催し、満員のホールからは笑いが絶えませんでした。

## 道路行政

次に、「道路行政」の取り組みのうち、国道24号拡幅整備につきま

しては、本陣交差点から市役所下交差点までの1工区および市役所下交差点から裁判所下までの2工区を継続して、国と一体となり鋭意用地交渉を行っております。今後の取り組みとしては、来年度から1工区の工事に着手する予定であり、併せて3工区の予定区間の計画を進めてまいります。

また、去る11月6日、市議会議長をはじめとする市議会議員と共に、国・県に対し京奈和自動車道大和・御所道路における御所区間の早期開通および、地域高規格道路五條新宮道路の五條市域における調査区間の早期事業化に向けた都市計画決定等について、精力的に陳情してまいりました。

## 街なみ環境整備事業

次に、新町地区の「街なみ環境整備事業」の取り組みのうち、修景施設整備補助事業につきましては、今年度で8件の申請を受け、うち5件が完了いたしました。これで54件の施設を整備し、歴史的な町並みの景観整備が進んでおります。また、小公園、防火水槽および市道新町線の道路修繕舗装工事も進めております。事業の進捗よくと共に、春秋の行楽やイベントの開催効果に伴い、県内外から新町を散策される観光客や各種団体等の視察研修も増えており、また、伝承館内の和室や展示室の定期利用も増えてまいりました。

今後、残された期間内に細やかな機能充実を図り、新町地区の保存対策、活性化に取り組んでまいりたいと考えております。

## 下水道事業

次に、「下水道事業」の取り組みについてご報告申し上げます。まず、本市の公共下水道の普及率は、昨年度において19.9パーセント増加し、3月末で53.5パーセントとなりましたが、県下